

# 小松島商工会議所 商業部会 議事録

日時：平成 29 年 6 月 20 日（火） 午後 4 時

場所：小松島商工会議所 会議室

出席者：商業部（5 名）、市産業振興課（2 名）、事務局（2 名）、その他（1 名）

## 1. 開会

## 2. 挨拶

司会を変更して進行していきます。

## 3. 議題

### （1）観光協会設立の件

- 方向性を決めていく
- 商工会議所が観光について方向性はあるのか
- 商工会議所としては何かする場合は常議員会にかけることになる
- 点から線につながって面にしていくことが大切
- 小松島市はクルーズ船来航時は市内の循環バスを出し、少しずつ成果は出ている。
- 有料オブショナルツアーを恩山寺などを巡るツアーを組んでもらうことはクルーズ船の旅行会社に頼んでいる。
- 歴史ロード的なツアーのようなものを作れば小松島で 1 日過ごせるのではないか。
- 観光ボランティアには色々な団体の協力を得て英語や手話などのものもあればよいと思う。
- 小松島市に放り投げるのではなく我々がやっていくべきだと思う。
- 小松島観光協会が春のまつりの時に後援として名前が出ている
- クルーズ船岸壁でする分は PR という形でやっている。今年は公募せずに東部でやっている。港湾で民間が営業をすることはあまりよくないという話はある。
- クルーズ船をビジネスチャンスとして公平な形でということを考えていないのか
- 県の運輸政策課はあまりそのようなことを考えていない
- クルーズ船対応についても一般の意見を言えるような場があるほうがいいアイデアがでると思われる。
- 市が PR として売っているちくわなどにしても逆に公平性が見えないように感じる危険性がある。
- 話し合ったことや提案した内容を情報交換、共有として降ろして欲しい。
- 観光ボランティアガイド協会については養成講座などを受けた方が団体として活動。
- 何もない中で方向性を目指して行く中でひとつの組織として観光協会の必要性を感じる。
- 小松島の点を繋げていって線や面として売り出していくことを考えないと個の力では無理。
- 商業や漁協など全体的な受け皿となる組織が必要。
- 講師などを呼んで勉強会などを開いて知識をや意識を高めていくことも必要。
- 各地の取り組みを見て観光や各地の事業など成功している事例を勉強していく。
- コンテナ船の乗組員やドッグなどの乗組員向けのイベントや案内などを考えてみる。
- いろいろな意見を積み上げまとめる共有の場が必要。

- 花いっぱい運動など小松島の観光としてもっと広めて見てもらうネットワークづくりなども組織があればよいのでは
- 点で頑張っている人や団体を線でつなげて小松島全体をつなげ組み合わせていく。
- ないものねだりよりあるモノ探し。
- 市のイベントなどについて把握必要。
- 各イベントの組織委員会などについても悩みなどはあると思われる。
- 各種イベントや組織、事務局の取りまとめや代理などを行えるようなこともできれば。
- 収益を得ることは重要。
- SWOT 分析等の可視化。
- 商業部会で動き、タイミングをみて任意団体を設立
- 現状の情報収集を行っていく。
- 次回、市内のイベント等の情報を各自持ち寄って共有していく

(2) 次回部会

7月25日(火) 16時から